

名取市地域公共交通計画(案) パブリックコメントの実施結果及びその対応(案)について

- 1 予告期間 令和4年12月28日(水)から令和5年1月12日(木)
- 2 実施期間 令和5年1月13日(金)から2月1日(水)
- 3 計画閲覧方法 ①市HP ②政策企画課・総務課で閲覧
- 4 パブリックコメントの内容と対応方針については下記のとおり
- 5 パブリックコメント提出者数:3名(計15件)

資料4

① なとりん号の運行に関することについて(10件)

NO	地区	提出されたご意見の概要	対応方針(案)	計画への反映の有無
1	増田	まちなか循環線における上余田バス停の位置が利用しにくい場所にあるためバス停位置の変更及び、上余田バス停より北側に新たにバス停を設置するべきではないか。	市が運行する乗合バス「なとりん号」の運行体系見直しについては、令和5年度の実証運行を踏まえ、令和6年度から新たな運行体系による「なとりん号」の本格運行を開始することとしており、本計画に施策1)「事業1-1 幹線路線・デマンド交通での分担によるネットワーク再編」として位置付けております。 まちなか循環線については、より効率的かつ利用者に分かりやすい走行ルートに見直す方針としており、上余田バス停については増田小学校への通学対応として運行する朝1便を除き、日中時間帯は今後本市が導入することとしている自宅(自宅付近)から市が定める目的地(指定乗降場所)まで乗合で移動することができるデマンド交通の指定乗降場所として活用する予定です。	無
2	増田	上余田地区から名取市役所・イオンモール名取へ行くには、名取駅東口で乗り換える必要があることから、直通で行けるようにするべきではないか。	デマンド交通導入後は、上余田地区から名取市役所・イオンモール名取まで直通で移動することが可能となります。	無
3	増田	増田八丁目・六丁目周辺に住む人の中には南仙台駅を利用する者もいると思われるため、南仙台駅東口にもなとりん号のバス停を設けるべきではないか。	現時点では南仙台駅東口になとりん号のバス停及びデマンド交通の指定乗降場所を設置する予定はございませんが、令和5年度に行う実証運行の利用実態や、なとりん号運行体系見直しに関する住民説明会での市民の皆様のご意見等を踏まえ、令和6年度からの本格運行開始に向け、検討してまいります。	無
4	増田	収支改善に向け、上余田から名取市役所に直接いけるのであれば運賃を一律200円に値上げしても良いのではないか。	収支改善を図るため、なとりん号のバス路線については利用の多い中心エリア内や利用者の多い路線に絞った運行を行い、それ以外の利用の少ない路線についてはデマンド交通で対応することで効率的な運行を図る方針としております。 また、料金体系についてなとりん号のバス路線は従来どおりの距離運賃制(150円～400円)、デマンド交通は1乗車一律400円とする方針ですが、各バス路線の中心エリア内の移動と、まちなか循環線は料金を一律100円として利用促進を図ることで収益改善に努めることとしております。今回頂いたご意見や令和5年度の実証運行の結果を踏まえ、令和6年度からの本格運行に向け検討を重ねてまいります。	無

名取市地域公共交通計画(案) パブリックコメントの実施結果及びその対応(案)について

5	増田	<p>まちなか循環線の運行経路は名取駅の東側、西側を一周するように運行されているが、東側だけを回る路線、西側だけを回る路線にして、効率的な運行を図るべきではないか。</p>	<p>まちなか循環線については、より効率的かつ利用者に分かりやすい走行ルートに見直すため、運行経路をコンパクトにする方針としております。 頂いたご意見も参考にさせていただきながら、令和5年度の実証運行の結果を踏まえ、令和6年度からの本格運行開始に向け、更なる検討を進めてまいります。</p>	無
6	増田	<p>本市が導入するデマンド交通は、どのような公共交通手段なのか分かるようにしてほしい。</p>	<p>なとりん号運行体系見直しの柱の1つとして、現在運行している「なとりん号」(生活路線)の代替としてデマンド交通を導入することとしており、本計画に施策1)「事業1-1 幹線路線・デマンド交通での分担によるネットワーク再編」として位置付けたものです。 デマンドとは「需要・要求」を意味しており、本市が想定するデマンド交通は、決まった時間に決まった経路を走るのではなく、予約に応じて経路を選んで走る乗合型の公共交通です。利用者からの予約を電話やスマートフォンで受け付け、AIが最適な乗降の順番や運行ルートを自動設計します。その結果がドライバーに伝達され、利用者を自宅まで迎えに行き、目的地(指定乗降場所)まで送り届ける交通手段です。運行する時間帯は「日中 9:00から16:00まで」であり、運賃は1乗車一律400円となります。 本市が想定しているデマンド交通の最新内容が分かるよう、情報を更新します。</p>	有
7	増田	<p>バス時刻表を停留所近くの「公共施設・病院・商業施設」に掲示するべきではないか。</p>	<p>施策2)「事業2-1 主要な交通結節点での乗継環境整備(バス待ち環境の整備)」において、今回頂いたご意見を参考とさせていただきながら、取組を推進してまいります。</p>	無
8	増田	<p>なとりん号の収支状況を改善するため回数券の販売を拡充するべきではないか。</p>	<p>現在、なとりん号の回数券については、バス車内及び名取市内5カ所で販売を行っております。 より便利に回数券をお買い求めいただけるよう、スマートフォン等で購入することができるデジタル定期券・回数券・企画券の導入等、より利便性の高いサービスを提供できるよう努めてまいります。</p>	無

名取市地域公共交通計画(案) パブリックコメントの実施結果及びその対応(案)について

9	相互台	相互台地区から名取市役所までなとりん号で行く場合、運賃が高いうえに名取駅での乗り継ぎが必要であり、乗り換えの時間も考慮されていない。市の中心部まで直通で行けるようにしてほしい。	既存のなとりん号(生活路線)の代替として、デマンド交通を導入することとしております。デマンド交通は、利用者の予約状況に応じた乗合型の公共交通であるため、他の利用者の目的地を経由する可能性はございますが、相互台地区から市役所を含めた市の中心部まで乗り継ぎ無しで行くことが可能となります。 なお、現在相互台地区から名取市役所まで乗継を含み運賃が550円となっておりますが、デマンド交通は1乗車一律400円のため、運賃がこれまでよりも安くなります。	無
10	ゆりが丘	通院のため家族に送迎を依頼するが、家族に負担をかけてしまうため、できるだけ自力で通院したいと思っている。 しかし、バス路線が地区内の幹線通りを走行するルートとなっており、バス停までの距離が遠いため、地区内のすみずみまで回ってほしい。 【同意見1件】	既存のなとりん号(生活路線)の代替として導入するデマンド交通は、利用者の自宅(自宅付近)まで迎えに行き目的地が病院であれば、病院(市内病院、仙台南病院、総合南東北病院)まで行くことが可能となるため、本市域内を広くカバーするようになり、利便性が向上するものと考えております。	無

②計画の基本的な考え方について(1件)

NO	地区	提出されたご意見の概要	対応方針(案)	計画への反映の有無
11	増田	地域公共交通計画の期間は5年間であり、5年計画には、具体性・実現性の乏しい一般例の羅列になっている。この5年の期間内において、具体的にどのように計画を進めていくのか。	実施事業の中には、事業期間が長期にわたるものもあるため、令和5年から令和9年の計画期間の間では、調査・研究からはじめるものもございます。計画策定後は、PDC Aサイクルにより進行管理をしていくとともに、今後の社会情勢の変化やバスの利用状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行ってまいります。 交通事業者やまちづくりの関係団体等とさらに連携しながら、本市が主体となり取り組んでまいります。	無

名取市地域公共交通計画(案) パブリックコメントの実施結果及びその対応(案)について

③その他のご意見について(4件)

NO	地区	提出されたご意見の概要	対応方針(案)	計画への反映の有無
12	増田	公共交通に対する市民の意識・関心を高めるための取組を実施するべきではないか。	公共交通に対する市民の意識・関心を高めるための取組については、施策8)モビリティ・マネジメントの実施において意見交換や乗り方講座を行うなど、公共交通の利用促進を図り、持続可能な公共交通体系の構築に向けて取り組んでまいります。	無
13	増田	バス停留所の時刻表について、各交通事業者で用いている書式や書体が異なっていることから、交通事業者へ指導を行い改善を図るべきではないか。	バス停留所については、各交通事業者が設置しているところではありますが、公共交通の利便性を高めるため、頂いたご意見も含め、交通事業者と協議・検討してまいります。	無
14	増田	名取市の世帯別自家用車所有割合が高いことを鑑み、年齢を問わない運転免許証返納者への支援策を打ち出してはどうか。	頂いたご意見を参考とさせていただきながら、施策8)モビリティ・マネジメントの実施の中で、運転免許証返納後の移動手段として積極的に公共交通を利用してもらえるよう利用促進を図るとともに、運転免許証返納者への支援の在り方について検討してまいります。	無
15	増田	市民の声を広く聞くため、意見募集期間を長く設定することや、パブリックコメントを求める情報を啓発・周知してほしい。	市民の皆様のご意見を広く頂くため、様々な媒体で分かりやすく周知するよう今後も努めてまいります。	無